



東海大生と保護者のための キャリアデザインガイド CAREER DESIGN GUIDE 2020-2021



保護者向けの就職説明会
を映像で配信します。右
のQRコードでアクセスし
てください。



「4つの力のアセスメント」
「キャリア支援ナビ」ほか
各施策について説明します。
ぜひご覧ください。

Think Ahead, Act for Humanity

～先駆けであること～

東海大学は現在、2022年の建学80周年を目指して、「日本まるごと学び改革実行プロジェクト」と題した全学規模の改組計画を進めています。キャリア・就職支援も、その新しいコンセプトに従って、学生たちが社会の「先駆け」としてより一層活躍できる「力」を身につけ、豊かな人生の第一歩を踏み出していけるよう、変化する情勢を見据え、ベストマッチの実現をサポートしてまいります。

Personal Support

～一人ひとりの人生を見つめます～

就職活動の主役は学生自身です。そして、その選択肢は多様な未来に開かれています。人と比べるものでも、早さを競うものでもありません。7キャンパス19学部75学科専攻課程という、全国の大学で最も細かく設けられたカリキュラムがその出発点。一人ひとりの学生の能力や適性を大切に、QOLを育てていく、システムと相談体制が設けられています。

4 Steps Career Design

～学年別のステップ・アップ目標があります～

1年生の春学期は「あえて「就職」という言葉は忘れてください」と言っています。大学の4年間は段階を追って「大人」になっていく期間。焦る必要はありません。一気に将来の「夢」にジャンプするのではなく、学年ごとに着実に視野を広げ、階段を上るイメージを持ちましょう。キャリア施策は、全て学年別の目標に合わせてプログラムされています。

Original Education Program

～全校舎共通の教育プログラムがあります～

東海大学では学部学科ごとの育成すべき人材像が定められています。そしてそれに加えて、社会人として備えるべき「4つの力」を養う全学プログラムも用意されています。チャレンジセンター・プロジェクトや留学プログラムにも、ぜひ挑戦しましょう！

QOL via Networks

～全国へ、世界へ。ネットワークで応援します～

2020年世界を襲った新型コロナウイルスの流行は、この国の地方創生とグローバル化の課題を浮き彫りにしました。大学にはそれを踏まえ、さまざまな分野で「新たな社会」を切り開く人材が求められています。果敢に挑戦する人には、全国に広がる校友会組織、自治体や国際的な提携・協力関係、大学がとり結ぶ各種ネットワークが味方になります。

キャリア就職センター／キャリア就職担当窓口 job@tsc.u-tokai.ac.jp



Personal Support

～一人ひとりの人生を見つめます～



キャリア支援ナビは、キャリア・カウンセリングのマイページ
 学生生活の「ポータルサイト」：キャンパス・ライフ・エンジンの「就職」をクリックすると、「キャリア支援ナビ」が開きます。3年生の春学期に、全員必要事項を登録。インターンシップ情報や求人票検索ができるほか、講座や行事の予約申し込み、エントリーシートにも使える「自分の長所・短所」「志望動機」のひな形も作っておくことができます。また、就職活動の履歴や、活動状況をまとめておけば、困ったとき、相談したいときの「カルテ」にも。内定報告もここから行います。3年生の秋までに必ず登録してください！

相談はいつでも Welcome!

窓口では、オンラインでの相談体制を整備。専門のスタッフが丁寧に対応します。企業や自治体の協力をうけ説明会や相談会も適宜開催。2020年度の地区後援会総会は中止になりましたが、窓口では保護者の皆様の問い合わせも承ります。



4 Steps Career Design

～学年別のステップ・アップ目標があります～



「キャリア設計」（1～2年生）：他者のことばに耳を傾け、自分の世界・価値観を広げる

まず主体性をもった「大学生」になろう！

「社会」の大きさと動きを意識しよう！

「就職」への助走路を着実に進もう！

自信をもって「進路選択」をしよう！

「キャリア形成」（3年生）：「職業人」として生きるモチベーションを築き、マネジメントスキルを身につける



「働いて、生きる」モチベーションと身構えをつくる
 人生100年時代の長い将来を見据えていくためには、短期決戦の「就職活動」に照準を合わせるのではなく、自ら主体的に「生き方」を選択する力を身につける。「学び」をベースにキャリアデザインを考える必要があります。キャリア4科目の目標は、支援策のポリシーとしっかり結びついています。

Original Education Program

～全校舎共通の教育プログラムがあります～



「新聞で学ぶ経済の動きとしくみ」
 日本経済新聞社の協力で実現した、東海大学だけのスペシャルプログラム。半年間新聞を読み続けることで、社会の動きを掴む「実力」を鍛えます。

「4つの力のアセスメント」で自分発見

入学時に行った、「4つの力のアセスメント」を3年秋にも実施。そのスコア自己分析、進路選択に役立てる講座を開講します。
 ※2020年度は1、3年生とも秋学期にオンラインで実施します。

「新聞で学ぶ経済の動きとしくみ」

「4つの力」を育むキャリアプログラム

能力試験・資格試験対策

能力試験・資格試験対策
 3年生には多くの企業が採用する「SPI」などの能力試験対策講座を開講。各種国家資格試験や公務員・教員採用試験の対策講座は2年生からの授業を推奨します。

業界研究会と就活応援講座

様々な「キャリア意識」形成プログラム

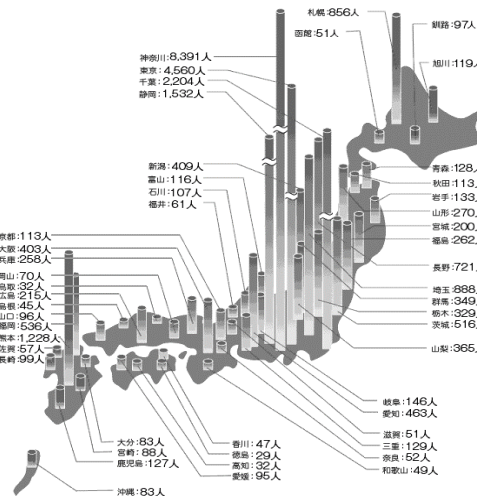
様々な「キャリア意識」形成プログラム
 2年生向けに「働いて、生きる」実感を育てる様々なプログラムを用意。大学主催のインターンシップや、企業見学や研修、講演会など。チャレンジする意欲を応援します。



業界研究会と就活応援講座
 航空・金融などの人気・難関業界には専門の講師による研究会や講座を。一般的なマナーや面接・ESなどのスキルアップを図るセミナーや講座を設けています。

QOL via Networks

～ネットワークで応援します～



全国に広がる、就職支援協定

東海大学は2020年4月現在、全国の25の自治体（24道府県＋1政令指定都市）と就職支援に関する協定を結び、地方創生人材を育てる積極的支援策に取り組んでいます。また全国には40万人を超える同窓会組織や14の付属高校があり、広域型総合大学を支えるネットワークを形成しています。

海外で働きたい人も応援
 東海大学は米国（ハワイ）、ヨーロッパ、アジアに海外拠点进行、多くの国際的な連携研究教育プログラムを行っています。キャリア就職センターでも毎年タイ（バンコク）で「海外で働きたい人」のための研修を実施しています。



※2020年度は各教育プログラムをオンラインでサポートしています。

4 Steps Career Design & Program

～学年別のデザイン目標があります～

2 年次

1 年次

Step.1 まず、主体性をもった「大学生」になろう！

“1年生のうちは「就職」という言葉は忘れていても大丈夫”

入学式のガイダンスでそう断言する背景には、社会が大学生に期待する力は主に学部・学科の勉強で培われ、1年生はその専門の基礎と思考の構えを習得する、大切な期間であるという考え方があるからです。1年生の学びは、2年生以降徐々に「社会的」な視野を広げていくための、軸足になります。

“資格に挑むかここで決断しよう”

将来の目標のないまま、やみくもに資格を追ってはいけません。但し、多くの国家資格では、受験の条件として特定科目の修得が不可欠。「1年生の終わり」には本気で挑戦するか否かを決めましょう。



“社会に対する眼を開いていこう”

子どもの頃から「憧れていた」仕事を指すという考え方から、その仕事の「社会性」「将来性」、採用枠はどれくらいあるのかといった「現実感」を持てるようシフトチェンジしましょう。

●「4つの力」のアセスメント

東海大学が、大学で身につけるべき「社会人基礎力」として掲げる「4つの力」。「自ら考える力」「集い力」「挑み力」そして「成し遂げ力」は入学時のあなたにどれくらい備わっているのか...ガイダンス期にそれを自ら認識するためのアセスメントを実施します。そして就職活動前（3年次）にもう一度チェック。自己分析の指標として活用します。2020年度は秋学期にオンラインでの実施になります（伊勢原は対面実施）。日時を確認し必ず受験してください。

●キャリア科目：「設計1」「設計2」

春学期に開講される「設計1」のテーマは、「大学という環境」を理解し、自分の味方にする。将来「社会という環境」でのびのび、豊かに生きていくモチベーションを喚起します。秋学期に開講される「設計2」のテーマは、「価値観の多様性」を。身近な「大人」の取材を通じて、多様な人々が共生する「社会」をイメージできるようになります。

●教職や国家資格を目指す人は

学科単位で、受験可能な資格の有無が定められていますので確認してください。教職、司書、学芸員の他にも、学科で推奨し、取得のための科目や支援体制が敷かれているものも少なくありません。担当の先生と相談し、学年ごとにしっかりステップを踏んで準備してください。

●東海JOB LEAGUE

3年生の夏から一般化したインターンは短期化し、就業体験という学習の意義が薄れています。20年以上続く東海JOB LEAGUEは「最低5日以上」「事前事後学習」を企業と「約束」し行う点で、2年生を対象とする本格的インターンシップとして注目を集めています。

●キャリア意識の向上へ

2年生対象に行う「キャリア意識向上セミナー」は、合宿形式（夏季）のほか、講演会や見学会、勉強会（秋～冬季）など「将来を考える」きっかけをつくるバラエティに富んだプログラム。バンコクで3週間を過ごす「海外キャリア形成研修ツアー」もお勧め。

☆まずは学部・学科の勉強に慣れよう

高校と大学とでは、時間割の作り方から授業の受け方までが全く違い、自分で選んで、主体的に講義に参加していくことが求められます。こうしたこと一つひとつが、キャリアデザインの観点から言えば、社会人に望まれる「主体性」を育てていくことにつながっています。

☆チャレンジセンターや、さまざまな課外活動にトライ

大学生活では、多様なクラブやサークル活動も魅力的ですが、東海大学には、大学自体が組織的に支援するチャレンジセンターや、学部・学科が独自に運営するオフィシャルな課外活動も少なくありません。大学の社会連携活動に参加するという貴重な体験ができます。



●公務員や難関業界対策は？

「公務員＝安定した職業」というイメージは過去のもの。様々なスペシャリストが活躍し、市民社会の窓口として柔軟な思考力が求められる責任ある仕事です。人気職種のため、試験の突破が必須。各校舎で対策講座が開かれています。これも2年生からの受講を推奨します。難関業界への挑戦も、2年生からの準備が大切。

☆2年生は視野を広げるチャンス

2年生になると、全学必修科目や、英語や学部学科の基礎科目が徐々に少なくなり、履修計画に余裕が生まれてきます。ここが様々な視野を広げる経験に踏み出すチャンス。留学や研修航海、さまざまな課外活動が皆さんを待っています。
※2020-21年度は中止となったプログラムもあります。



Step.3 「就職」への助走路を着実に進もう！

3 年生はホップ・ステップ・ジャンプ！！

「情報環境」スタンバイ⇒「自分」に磨きをかけて⇒狙いを定めていざ発進！

「キャリア支援ナビ」「就職情報サイト」に登録（5～6月）、インターンシップ情報ゲット。

「SPI」など能力試験対策、身だしなみを整え（7月）、いざ、インターンシップへ挑戦。

「自己分析」と「業界研究」を行い、年明けからの「動き方」を戦略的に！（11～12月）

●日経新聞協力「新聞で学ぶ経済の動きとしくみ」

日経新聞社員と本学講師で練りに練ったカリキュラム。2021年度からの全学開講の正規科目化（2単位；講義はオンライン配信）を目指し準備中。各期最後に「日経TEST」を受けて「ビジネス知力とグローバル対応力」を磨きます。新聞以外の教材や、オプションプログラムも充実。

●キャリア科目：「形成1」「形成2」

春学期に開講される「形成1」のテーマは、社会・集団・個人の役割を学ぶ。社会人取材を行い、「職業人」とは何かを考えます。秋学期に開講される「形成2」のテーマは、業界研究とセルフマネジメント。就職決定後に必要となる分析手法と学び、併せて「自分」の価値を見定めていきます。

☆卒業までの計画を
しっかり立てよう

3 年生になったらまず修得単位を確認し、卒業研究などの取り組み方について見通しを立ててください。学科によって異なるので要注意。

★能力試験対策、難関業界対策もばっちり

最も多くの企業が採用している試験は「SPI」ですが、最近では「玉手箱」を利用する企業も増えています。ポイントは非言語、すなわち数学ですが、企業は別に数学ができる学生を採用したいのではなく、しっかり心構えをもって準備しているかを見ています。各校舎でEラーニング教材も整え、対策講座を設けています。

★インターンシップにチャレンジ

インターンシップはおおよそ8割の企業が採用し、学生も7～8割が経験しているというデータもあります。短期のものは夏休みに開かれるケースが多いですが、オンライン方式を導入する企業も増え、秋から本番直前の2～3月も盛んです。業務内容や企業風土を知る意味でも、積極的に参加しましょう。

★さまざまな「就活応援講座」を活用

様々な「就活応援講座」が用意されています。特に「エントリーシート」の書き方と「面接」での話し方については、就職活動が本格的に始まる前に、不安をなくしておきましょう。



●多様化するスケジュール⇒周りを気にせず、自分のペースで

経団連が採用スケジュール指針を撤廃して以降も、政府・企業・大学の申し合わせにより、3月1日本格スタートは変わりませんが、インターンシップからの継続的な流れは定着。情報を収集して、落ち着いて準備をすることが何よりも大切です。

●就職活動は「マッチング」⇒飾らず、粘り強く、臨機応変に

就職活動は「企業から選ばれる」という受け身の気持ちではなく、自分が「良い企業を選ぶ」という積極的な姿勢で臨むことが鉄則。うまくいかないことが続いたら、方針変更も考える柔軟さも必要です。

●人材を求めている企業はたくさんある⇒意外な優良企業も

コロナ・ショックの直撃を受けた業界もありますが、「新しい社会」を目指すさまざまな動きに合わせ、技術やサービス開発、働き方改革は一層進み、求人は堅調を維持と予想されています。将来性のある企業を選ぶことからチャンスが広がります。

●大切な体調管理⇒試験対策、面接対策としても

4 年生の春学期は、スケジュールが詰まって疲労が蓄積します。また人によっては就職活動が数か月にわたる場合もあります。安定した体調で試験や面接に臨めるように、食生活に気を付けて、睡眠を十分とるようにしましょう。

●学業とのバランスを考えて⇒指導教員の先生としっかり相談

卒業研究や卒業に必要な単位の修得と就職活動との両立を図ることを怠ってはいけません。指導教員の先生と、密にコミュニケーションを図り、学業に関する心配は、先手先手で払拭しておきましょう。

●「内定」から「就職先決定」へ⇒いずれの判断も、誠意をもって

複数の「内々定」「内定」を獲得し、決断を迷うケースも少なくありません。承諾を長期留保してチャンスを失う場合もあります。意思表示の期限について、企業の考え方は様々です。「正直に、誠意をもって」相談することが原則です。

●後輩たち&自分のために⇒決定報告・就職体験記を残そう

採用試験の内容や面接などの傾向は時代とともに変化します。そこで頼りになるのは先輩の「体験談」。就職先を決めたら、必ずキャリア支援ナビに報告し、後輩たちのために「体験記」を残しましょう。

●そしてさらなるスキル／マインドアップを⇒フォローアップ相談も

「売り手市場」と言われる時代は終わっても、社会に出る心構えや知識が十分でないまま短期間で「内定」が出てしまう場合もあります。選択への迷いや、働くことへの不安に苛まれたときには、いつでも相談に来てください。